

広島土砂災害情報

2014. 11. 30 神戸；政令指定都市会長会議

広島市で起きた土砂災害について広島市開業獣医師連合協議会が発表した小動物関連の情報を記載します。

2014年8月19日午後7時より急に雨が降り出し、雷が絶え間なく成り続け、5時間ほど降り続いた。

8月20日午前3時～4時土砂崩れが発生した。死亡者は74名、重傷者8名、軽傷者36名。避難勧告を受けた人は、16万6500名と発表された。

- ・ただし土砂災害は広島市内に限られた一部の地域のみで、被害にあった動物病院は地下駐車場が土砂で埋まってしまった一軒のみ。病院施設には被害はなかった。
- ・翌日から飼主が亡くなった動物を動物病院で預かってほしいと希望者が連絡してきた。会で協議の上、各動物病院は無料で受け入れ、後に上から支援の予定を聞いた。件数は犬35頭、猫25頭で預かる際には同意書をとって預かった。最長で1ヶ月間は無料で預かり、その後は再度相談することにした。
- ・小動物（ウサギ・フェレット）は動物病院で預かるのはストレスが掛りすぎるとボランティアの人に預ける予定だったが、避難先へ連れていけたので預かり希望はなかった。しかし今後の災害のために検討する必要性を感じた。